



鳥取市教育センターだより

第2号 令和元年7月4日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

他者とのつながりで「自己有用感」



所長 東田 重高

これから最も暑い時期となり、あと約2週間で夏休みに入ります。皆様が健康管理に気をつけて教育活動に励んでいただきますことを願っています。

さて、学校不適応解消（未然防止）や学力向上（授業づくり）など様々な研修や会議の中で、「他者とのつながり」の重要性を再認識する機会がたくさんあります。

その際、「自己〇〇感」という言葉がよく使われます。

「自己〇〇感」に入る言葉として、「自己有用感」「自己肯定感」「自己存在感」など、いくつか思い浮かぶと思います。また、同じような言葉に「自尊感情」などもあります。「国立教育施策研究所 生徒指導リーフ Leaf. 18」には、下記のように説明してありますので、言葉の意味や使い方を参考にしていただけると幸いです。



【すなはま体験活動:久松山 登山】

- 「自己有用感」は、他人に役に立った、他人に喜んでもらえた、…等、相手の存在なしには生まれにくい点で、「自尊感情」や「自己肯定感」等の語とは異なります。
- 「自尊感情」とは、心理学用語 Self Esteem の訳語として定着した概念です。一般的には、「自己肯定感」「自己存在感」「自己効力感」等の語などと、ほぼ同じ意味合いで用いられているようです。
- ◆「自己有用感」は、自分と他者（集団や社会）との関係を自他共に肯定的に受け入れられることで生まれる、自己に対する肯定的な評価です。 ⇒ 社会性の基礎となる「自己有用感」
- ◆「褒めて（自信を持たせて）育てる」という発想よりも、「認められて（自信を持って）育つ」という発想の方が、子供の自信が持続しやすい。
- ◆「自己有用感」に裏付けられた「自尊感情」が大切。



他者とつながることを苦手とする児童生徒が増えていますが、だからこそ、他者とのかわりが必要となる学校生活の中で、是非とも子どもたちに「自己有用感」を実感させたいものです。もちろん、教職員にとっても「自己有用感」を実感できる職場であってほしいと願うばかりです。皆で心をあわせて、一人一人の「自己有用感」あふれる学校づくりをともに進めていきませんか！

研修企画係

「外国語活動支援員研修」

6月3日(月)、鳥根大学の^{大谷}みどり教授をお迎えして、外国語活動支援員研修を行いました。(会場：鳥取市教育センター)

大谷先生には、小学校外国語活動の内容と、担任と協働して授業を行う外国語活動支援員の役割について御指導いただきました。

現在、鳥取市では英語が堪能な地域人材や留学生等27名を外国語活動支援員として39校に配置しています。各校における担任と支援員とのチームティーチングを充実させ、楽しく外国語活動の授業を行うことが、英語大好き、コミュニケーション大好きな子どもたちの育成につながります。



大谷先生に、担任との打ち合わせの持ち方や授業アイデアを教えていただきました。



模擬授業でアイデアをいっぱい出し合いました。

きなんせ! English World キャラバン

今年も5月29日(水)の若葉台小学校と福部未来学園を皮切りに、市内のALT13名と地域人材による「きなんせ! English World キャラバン」がスタートしました。

本年度は、年間8回の日程で21校(小学校16校、中学校3校、義務教育学校2校)を訪問する予定です。

キャラバン隊は、各学年の実態に合わせて、学級全体で英語を使ったゲームをしたり、小グループでいくつかの話題について英語でやりとりしたりして、楽しく英語でのコミュニケーション活動を行っています。

また、キャラバンの実施については、実施校の中学校区に情報提供しています。子どもたちの英語によるコミュニケーションに対する意欲の向上につなげるために、実際の様子を中学校区で情報共有し、小小連携、小中連携推進に活用ください。



ALT 自己紹介 (西郷小)

ALT に友達紹介 (気高中)



初任者、頑張っています!

5月中旬から初任者研修・新規採用養護教諭研修として「初任者学校訪問」を行っています。研修内容は、①授業実践(養護教諭は保健室運営や日頃の業務についての聞き取り)、②面談です。

各学校ではどの初任者も、校内の先輩先生方の助言を受けながら入念に授業準備を行い、目の前の子どもたちのために一生懸命取り組んでいます。また学級全体や児童生徒一人一人の様子をしっかりと見て、カー杯誉めたり、ともに学び合ったりと教師としての実践を積み重ねています。

今後も校内・校外の研修に意欲的に取り組み、研修で学んだことを活かすことが、授業づくりや学級経営の充実につながっていきます。

○初任者の声

- ・1日1日子どもたちとの距離が少しずつ縮まって、少しずつですが信頼関係が築けてきていることにうれしさを感じています。これが日々の活力となっています。
- ・担任をさせていただいて、本当に嬉しいです。子供たちが真剣なまなざしで学習に向かっている姿や学級みんなの気持ちが一つになった瞬間がたまらなく嬉しいです。
- ・授業中、子どもたちから「わかった」「できた」という声をたくさん聴けると充実感があります。

ホットハートカフェ (初任者座談会) 開催中!

日頃の実践や業務等で困っていること、悩んでいることを語り合いませんか。たくさんの参加をお待ちしております。

【実施日】 7/9(火)、7/26(金)、8/7(水)、9/30(月)、10/8(火)、10/28(月)、11/29(金)、12/17(火)、1/31(金)

特別支援教育係

「学校不適応未然防止に向けて！！ Part ①」

～丁寧な対応から生まれる信頼～

鳥取市教育センター及びこども発達支援センターでは、昨年度のこの時期と比較し、不登校・行き渋り、適応指導教室等に関する相談件数が増加しています。

電話・来所による保護者相談の中で、校内はもちろん、家庭や関係機関等とも丁寧に情報を共有し、早期支援につながっているケースもあり、初期対応の重要性や本人・保護者との信頼関係づくりの重要性を感じています。本人・保護者の不安や心配に対して丁寧な対応を心がける姿勢を大事にしたいものです。

- 子ども・保護者の思いを受け止めながら、しっかりと話を聴きましょう。
- 報告・連絡・相談により確実に情報を共有し、チームで迅速な対応をしましょう。
- 電話ではなく家庭訪問で、子ども・保護者の顔を見ながら対応しましょう。
- 顔が見えない電話対応は、相手に誠意が伝わる丁寧な温かい対応をしましょう。

～授業における関係づくり～

新年度がスタートし、3ヶ月が経とうとしています。各学校では子どもたちが生活に慣れ、安定した生活を送っていることと思います。そのような時期だからこそ、学校生活の大部分を占める授業において大事な視点を確認・点検してみましょう。

| | |
|-------|--|
| 事前・導入 | <input type="checkbox"/> 落ち着いて学習できるよう、教室内美化や整理整頓の指導・支援を行っていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 集中できるよう、座席配置等の指導・支援をしていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> あいさつや時間、身だしなみ等、授業に臨む姿勢のルールの指導・支援を行っていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 見通しをもって活動ができるような授業のスタートの指導・支援を行っていますか？ |
| 展開 | <input type="checkbox"/> 説明や伝達が明確になるような分かりやすい指示の指導・支援をしていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 気づきや思考がイメージしやすいような指導・支援をしていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 理解が進むよう指導・支援をしていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 発言の仕方や教師の話、友だちの発言の聴き方等の学習ルールへの指導・支援をしていますか？ |
| 終末・事後 | <input type="checkbox"/> 本時の学習の達成感や次時の学習の期待感を持たせるようなまとめや評価をしていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 質問しやすい場を設定していますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 努力や成果、態度への積極的な肯定的評価をしていますか？ |

(参考文献)

『通常学級での特別支援教育のスタンダード自己チェックとユニバーサルデザイン環境の作り方』
東京都日野市公立小中学校全教師・教育委員会 with 小貫悟 (2010) 東京書籍